

学校番号	18
学校名	富山県立富山いずみ高等学校
学校の現状と課題	多様な進路志望及び生徒の生徒が在籍しており、学習意欲や学習到達目標に大きな開きが見られ、それぞれの生徒に応じた学習指導や進路指導が必要であり、全体指導に加えて、個別指導を丁寧に行う必要がある。 【自己の進路への自覚】を深めさせるために、主体的・対話的で深い学びの実現の視点に立ち、生徒一人ひとりのキャリア発達を促し、勤労観・職業観を育てる取り組みや支援の在り方の工夫、教師の授業改善などが求められる。
テーマ(特色)	進路実現！わたしのいずみストーリー(社会の中における自己の在り方・生き方の探究)
設定した「テーマ」の達成状況	・総合学科1学年では、テーマをふまえて「自分を知る」「世界を知る」「地域を知る」の3つの学習内容から、社会の中における自己の在り方・生き方を考えさせた。自己実現に必要な科目選択や社会の現状を知ることを通じて、自己理解力・キャリア形成力の向上を図ることができた。 ・2学年では、新型コロナウイルス感染症拡大状況によって、年度当初予定していた内容での研修旅行は実施できなかった。しかし、1年次に学習していたSDGsに関連する形で、自然環境学習を長野県で実施することができた。 ・3学年では、総合学科・看護科とも、自分の進路に関する課題研究を行うことにより、これからの目標が明確になり、目標に向かって取り組みとする意欲が高まった。 ・看護科では、看護臨床実習や事後の発表会、看護研究を通して課題解決能力や探究力、コミュニケーション能力を伸ばすよう計画し、概ね予定通り実施できた。新型コロナウイルス感染症により一部臨床実習が実施できない施設があったが、事例やシミュレーション機器を用いるなど代替演習を行い、少人数指導を行うことができた。
実施内容(具体的に記入する)	<p>○総合学科1学年の取り組み</p> <p>①3分間スピーチコンテスト：自己を客観的に見つめる作業を通して自分の姿を明確にし、自分をアピールできる表現力を培った。また、級友のスピーチを聞くことで多様な価値観を学び、級友を理解する一助となった。</p> <p>②職業研究：DVD(プロフェッショナル仕事の流儀)を視聴し、働く意義について考えた。様々な角度からその職業について学び、仕事や生き方に信念を持つ仕事人の姿を通して、自分自身の職業観と向き合うことができた。</p> <p>③学期研究「先立方 学びを語る」：学校長をはじめとする教員が、学びや進路選択について講演を行った。教員の体験談やアドバイスを参考にし、学ぶことの意義や進路について考えを深めることができた。</p> <p>④学期研究「夢ナビプログラム」：大学教授が学問の魅力を動画で紹介する「夢ナビプログラム」を活用し、関心のある学問分野について調べた。自分の興味関心につながる大学での多様な学びについて知ることもできた。</p> <p>⑤世界の現状を知る「ワークショップ」：教員が質問、水、食料、環境など7つのテーマで講演を企画し、生徒はその1つを選び受講した。ワークショップは、世界の解決すべき課題と自分の生活との関連に目を向ける契機となった。</p> <p>⑥世界の現状を知る「国際理解講座(講演会)」：青年海外協力隊として開発途上国で種活動に携わった講師5名を招き、講演会を実施した。全体会・分科会を通して、世界の現状や国際協力について学び視野を広げるとともに、異文化理解を深めた。</p> <p>⑦地域を知る「企業探究」「企業訪問」「地域探究」：Rokucプログラムを活用し、企業のサステイナビリティやイノベーションの事例を参考に地域の課題解決を考えた。訪問企業の探究、情報収集においてはタブレットも活用した。企業訪問では、企業が取り組む社会課題や企業の役割を多角的に学ぶことができた。企業訪問後、地域の課題解決についてグループで意見をまとめた。話し合いやグループワークを通してコミュニケーションがはじかれた。</p> <p>⑧産業社会と人間発表会：第1部は「地域を知る」に関するポスターセッションを行い、企業探究や地域課題の解決策を発表した。会場では活発な質疑応答の様子が見られた。第2部は「職業研究・学期研究：世界の現状を知る」の各内容を、プレゼンテーションソフトを使ってまとめたグループ発表を行った。</p> <p>⑨産業社会と人間報告集：1年間の学習を振り返り、産業社会と人間の授業で学んだことや今後の進路に生かしていきたいことなど、学習の成果をまとめた。</p> <p>○2学年の取り組み</p> <p>⑩研修旅行：1泊2日で長野県で実施した。長野の文化や自然環境について体験型で学びを進め、普段の学校生活ではできない経験を経ることができた。</p> <p>⑪進路ガイダンス：北信越地方から12校に来てもらい、様々な学問分野に分かれてガイダンスを行った。大学の学びに対するイメージが明るくも良い機会となった。</p> <p>○3学年の取り組み</p> <p>⑫卒業生講演会：進路において積み重ねた学びを将来につなげ、社会で生かすために、進路に関する調査・考査・発展の学習を行った。</p> <p>⑬主権者教育 行政相談講座：富山市行政相談員である、本校同窓会長を講師に迎えて、リモートで講演を行った。</p> <p>⑭主権者教育 消費生活講座：富山市内の弁護士を講師に迎えて、被害者にも加害者にもなり得る消費者トラブルに備わったための講演会をリモートで行った。</p> <p>⑮主権者教育 ライフプラン講座：ライフプランアドバイザーを講師に招いて、「ライフプランと税金のお話し」と題して、リモートで講演会を行った。</p> <p>○高校看護科の取り組み</p> <p>A看護臨床実習グループ発表会(3年看護科)：各グループ事例を通して振り返り、学んだことをまとめ、グループ発表を行った。</p> <p>○専攻科看護科の取り組み</p> <p>B卒業生との進路懇談会(専攻科)：卒業生を招いて、懇談会を実施した。</p> <p>C看護研究(専攻科)：グループ毎にテーマを決め、科学的根拠に基づいた研究に取り組み、発表を行った。</p> <p>D専攻科看護科特別講演会(専攻科)：富山県がん総合相談支援センターの吉田千恵氏を招いて、講演会を行った。</p> <p>E病院実習事例報告会(専攻科)：病院実習で行った看護実践について発表を行った。</p>
取組による成果(プロジェクト学習推進の観点から)	<p>1学年：主体的・対話的な学びに向け、ワークショップやグループ学習、発表活動を取り入れ、他者と協働する力、コミュニケーション力、情報収集力を培った。また、外部講師による講演会や地元企業の企業訪問は、社会の様々な課題について視野を広げるだけでなく、地域の方から学びの機会を得る貴重な体験となった。</p> <p>2学年：授業等で環境学習やSDGsに関する学習を行っていたが、研修旅行で実際に現地に赴き体験を通してより深く学びとすることができた。学び、疑問をもち、検証するというサイクルをまわすことができた。また、新型コロナウイルス感染症の影響でオープンキャンパスになかなか参加が難しい状況であったため、12月に実施した進路ガイダンスを聞く生徒の様子は真摯そのものだった。ガイダンス後に質問をする生徒も多くみられ、進路ガイダンスを受けての学校調べ(冬期休業中の課題)は、今までより具体的な進路を考へた。</p> <p>3学年：課題研究においては、進路に関する調査・研究を行うことにより、漠然とした自分の未来に対して、以前よりは具体的に考えることができるようになり、目標をもって学習に取り組むことができるようになった。また、行政相談講座や消費生活講座、ライフプラン講座では、自分たちの暮らしが便利で安全に過ごせるように困ることがあれば相談するすべがわかり、日常生活と行政との関わりや、特にSNSを利用した消費者トラブルについて学ぶことができた。4月から18歳で成人となる3年生にとって、連れるべきなる学びになった。</p> <p>○高校看護科・各グループ事例を通して振り返ることで実習体験の共有を図り、学びに繋がった。また、グループ発表会によって看護師に必要なコミュニケーション能力を高める一助となった。</p> <p>○専攻科看護科・卒業生との進路懇談会(専攻科)では卒業生を招いて、進路について情報やアドバイスを。勤労観や職業観を養う機会になった。看護研究(専攻科)では、臨床実習での看護実践の中で感じた疑問点からグループ毎にテーマを決め、科学的根拠に基づいた研究に取り組んだことで探究力の向上を図ることができた。専攻科看護科特別講演会(専攻科)では、富山県がん総合相談支援センターの吉田千恵氏を招いて、がん患者の思いを聴き、患者に寄り添う看護について考える機会となり、自己の看護観を確立するのに役立った。</p>
対象者(学年・人数など)	1学年191名(総合学科151名、看護科40名)、2学年(総合学科160名、看護科35名)、3学年(総合学科155名、看護科41名)、専攻科看護科1年35名・2年33名
4月	
5月	①3分間スピーチコンテスト「C看護研究(専攻科)」
6月	②職業研究「③学期研究「先立方 学びを語る」④学期研究「夢ナビプログラム」⑤卒業生との進路懇談会(専攻科)」
7月	⑥科目選択ガイダンス、⑦研修旅行
8月	
9月	⑧世界の現状を知る「ワークショップ」
10月	⑨世界の現状を知る「国際理解講座(講演会)」
11月	⑩地域を知る「企業探究」
12月	⑪進路ガイダンス、⑫看護研究発表会「まとめた集(専攻科)」⑬専攻科看護科特別講演会(専攻科)」
1月	⑭地域を知る「地域探究」、⑮3年看護科看護臨床実習発表会
2月	⑯産業社会と人間発表会、⑰卒業生講演会・発表会、⑱行政相談講座、⑲消費生活講座、⑳ライフプラン講座
3月	㉑産業社会と人間報告集、㉒病院実習事例報告会(専攻科)